

# 看護部通信 第11号

～看護部の今を伝える～

2026.5.31

皆さんこんにちは。4月に50名の新人看護師が入職し、各部署に配属されました。慣れるまでは新人看護師もスタッフの皆さんも大変だと思いますが、一年後を思い描きながら育ててほしいと思います。さて、早いもので私が看護部長として当院に着任し3年目となりました。昨年は、看護師のキャリアアップを目的とした院内留学制度の導入、積極的な院外研修派遣や看護管理者・次期看護管理者を対象とした看護管理研修応用編の実施など様々な取り組みを行ってまいりました。そして、離職率が日本看護協会の平均値に比べかなり低くなったことは、看護部のビジョンである、『行田総合病院の看護師が元気で笑顔でいきいきと働き続けられる職場づくり』に近づいたように感じています。今年度は、キャリアラダーに続き、新たに看護管理者・次期看護管理者を対象としたマネジメントラダーの導入を開始します。また、師長会において看護管理能力の育成を目的とした「看護管理検討会」を実施し、看護部の様々な課題の検討や看護管理のやりがいなどを語る場とします。更に、昨年度1年間かけて学習したBSCを看護部全体に導入し、各部署のビジョンを示しどこに向かって何を行っていくかを見える化したいと思っています。各部署のBSCは、看護部BSCと連動しており、これによって看護部が一丸となって組織運営を行っていくこととなります。このように、今年度も様々な取り組みを行ってまいりますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、今回の看護部通信では、新しく着任した管理者と副部長の紹介をさせていただきます。よろしくお願いいたします。



看護部長 佐川みゆき



看護副部長  
石井秀和

4月より、看護副部長となりました石井です。約1か月が過ぎましたが、人生で初めてスケジュール管理をし始めました。覚えることもたくさんあり、目の前の仕事をこなすことで精一杯の毎日過ごしています。業務担当副部長に求められる役割を理解し、現場のスタッフが安全安心な看護提供ができる環境に、患者さんは安全安心して看護を受けられる環境となるように、裏方として看護の現場に関わっていきたくと思います。まだまだ初めましてのスタッフもたくさんいると思いますので、気軽に声をかけてもらえたら嬉しいです。みなさんよろしくお願いいたします。

4月より入職しました高柳です。私は、これまで看護師として大・中規模病院での勤務や看護学生の育成に携わってきました。その中で私が大切にしてきたのは、患者さんに寄り添った優しい看護を提供することです。前職では看護部の運営にも関わってきました。管理者としては、スタッフが遣り甲斐を感じ「看護って楽しい」と思えるような明るい職場づくりを目指しています。そして、働きやすい環境を整えられるよう、スタッフの声を聞きながら、取り組んでいきたいと思っています。入職したばかりで戸惑うことも多いですが、早く職場に慣れ、皆さんのお力になれるよう頑張っていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



救急整形病棟  
看護師長  
高柳美穂

4月より入職いたしました松嶋です。感染管理認定師として、感染管理を担当いたします。私は新卒から循環器専門病院の手術室やICUで勤務してきました。現場で「感染した患者さんを救いたい、予防したい」と感じたことが、私の原点です。感染対策は私一人では成し遂げられません。例えば、感染対策で最も重要な日々の手指衛生も、実施しなければ何も守ることはできません。手指衛生は、自分だけでなくスタッフ、そして患者さんを守るための大切な行動であり、いきいきと働き続けるための基盤となります。皆様と一緒に、誰もが迷わず安心してケアに専念できる環境を作っていきたいと考えています。どんな小さなことでも、ぜひお気軽にお声がけください。どうぞよろしくお願いいたします。



感染管理認定看護師  
松嶋 淳